

昭和

議会だより

第 **54** 号

平成22年4月25日 3月定例会

＜群馬県昭和村議会＞

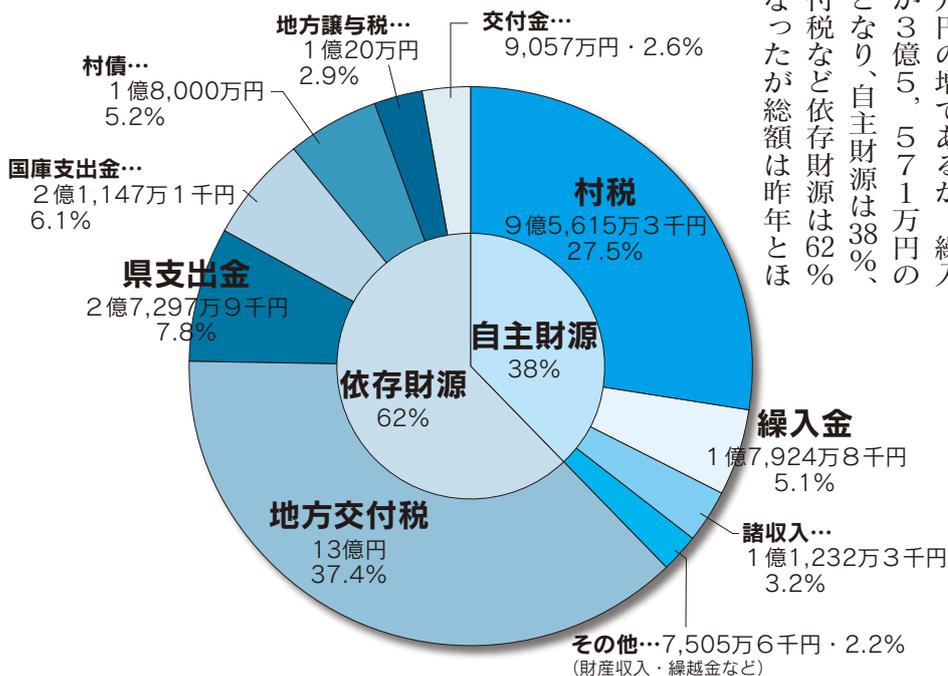
- 
- 2・3 平成22年度予算決まる
一般会計(0.3%減)・特別会計(0.1%減)
- 4・5 3月定例会で決めたこと
- 11 追跡シリーズ11 あの問題は今

昭和村予算

歳入

村税は昨年より4,386万円の増であるが、繰入金が3億5,571万円の減となり、自主財源は38%、交付税など依存財源は62%となったが総額は昨年とほぼ同額

(昨年対比0.3%減)で、厳しい財政状況に変わりなく、節度ある財政運営が必要である。



一般会計予算(前年度比0.3%減)

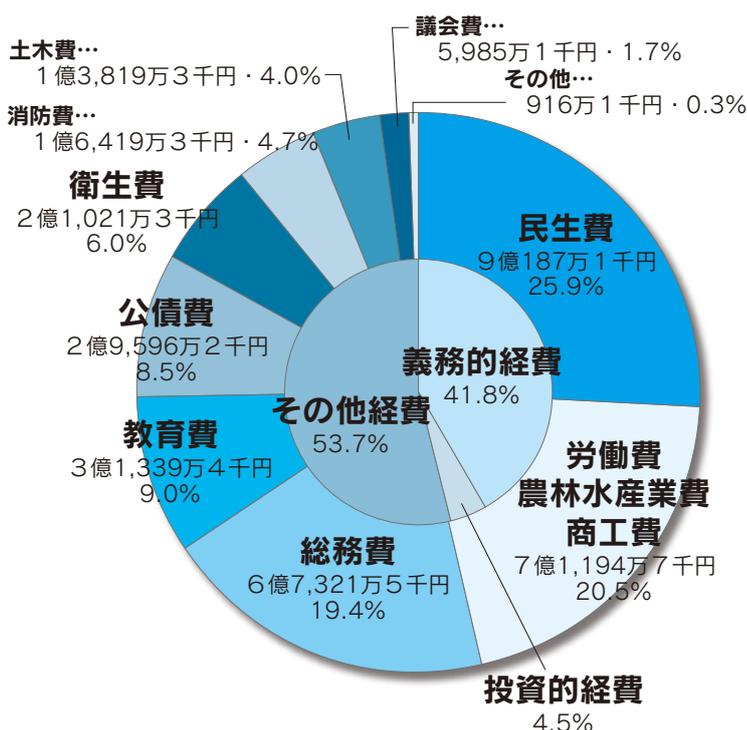
34億7,800万円

歳出

3月定例会において、一般会計予算・特別会計予算が提出され、すべて原案のとおり可決しました。

義務的経費が41.8%と比率が高く、投資的経費は4.5%と少ない予算と

なった。財政の硬直化は改善されず、各種事業の優先順位について厳しい選択を行い、少ない予算を有効に活用し、財政の健全化を推進しなければならぬ。



予算総額 **56億2,589万円**で**船出**



厳しい財政状況の中、 子育てにやさしい 村づくりを目指して

特別会計予算(前年度比0.1%減)

総額 **21億4,789万円**

国民健康保険特別会計	10億5,631万4千円 (5,525万4千円増)
老人保健特別会計	155万7千円 (1千円増)
簡易水道事業特別会計	1億575万円 (9,844万5千円減)
農業集落排水事業特別会計	3億4,236万円 (643万1千円増)
介護保険特別会計	5億7,562万4千円 (4,026万9千円増)
後期高齢者医療特別会計	6,628万6千円 (594万2千円減)

(カッコ内の数字は前年度比)

今年度の主な事業

- 民生費** ○子ども手当支給事業
○子育て支援金事業
- 農林水産業費** ○農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業(苗畑整備)
- 土木費** ○村道横道下中坂線道路新設改良事業



整備が進む苗畑地区

定例会

3月定例会

3月定例会は3月5日から15日までの11日間の会期で開催されました。村長から行政報告があり、その後村長より提出されました平成22年度一般会計予算案、各特別会計予算案等を含む23議案について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決いたしました。最終日の一般質問では2人の議員が国土調査(地籍調査)の早期完了を求め、また村独自の住宅エコポイント制度の実施について等村長の答弁を求めました。

旬菜館トイレ設置の補正決まる

人事

教育委員会委員に板橋芳郎氏を再任 (全員賛成)



板橋芳郎氏 (沼田市薄根町)

とから、職員の派遣について内容の変更をする旨の改正。 (全員賛成)

改正に伴い支給率の変更等を追加する旨の改正。 (全員賛成)

条例一部改正

公益法人等への職員派遣等に関する条例の一部改正

平成22年度より利根沼田農業共済が群馬県農業共済組合に県内一本化されるこ

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

人事院勧告により1か月に60時間を超える時間外勤務手当の支給割合の引き上げに伴い、その引き上げられた差額分に代えて代休時間を指定できる旨の改正。 (全員賛成)

昭和村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

人事院勧告により時間外勤務手当の支給割合に係る

昭和村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

議会議員が区長をはじめ議会議員の職と関わりのない他の非常勤特別職を兼ねるケースが見られるため重複支給を認める改正。 (全員賛成)

昭和村職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告により1か月の時間外勤務時間が60時間

補正予算

を超えた場合の手当の支給率を変更する旨等の改正。 (全員賛成)

一般会計(第6号)
1千491万5千円追加

総額
40億1千737万5千円

補正の主な内容

歳入	歳出
・ 国庫支出金 5千867万4千円	・ 企画費 地域情報通信基盤整備事業設計監理委託料 4千116万円
・ 県支出金 2千591万7千円	・ 地域情報通信基盤整備事業 地域情報通信基盤整備事業工事費 4千114万5千円
・ 繰入金 8千110万4千円	・ 農業振興費 ぐんまの野菜担い手育成支援補助金 1千722万6千円
・ 繰越金 4千929万8千円	・ 大規模野菜経営体育成事業補助金 645万5千円
・ 村債 950万円	・ 道路維持費 除雪作業費 2千500万円
	・ 村道維持補修事業費 3千90万円
	・ 消防費 消防施設管理費 1千659万2千円

消火栓新設工事費
502万3千円
・教育費
国際交流事業費
△ 887万2千円
(全員賛成)

国民健康保険特別会計

(第3号)

6千846万9千円追加

総額

10億7千663万9千円
一般被保険者療養給付費
や高額療養費の増加等によ
るもの。
(全員賛成)

簡易水道事業特別会計

(第2号)

8千984万3千円減額

総額

1億1千507万2千円
閑屋工業団地への水道施
設の増設工事を繰り延べた
ことによるもの。
(全員賛成)

農業集落排水事業特別会計

(第3号)

1千949万4千円減額

総額

3億1千961万5千円
委託料の減額や戸別浄化

槽事業において計画より加
入者が減少したこと等によ
るもの。
(全員賛成)

介護保険特別会計

(第2号)

2千650万9千円減額

総額

5億1千870万9千円
保険給付費と地域支援事
業費の給付額の減少による
もの。
(全員賛成)

後期高齢者医療特別会計

(第2号)

856万9千円減額

総額

6千439万2千円
特定健康診査委託料や後
期高齢者医療広域連合納付
金等の減少によるもの。
(全員賛成)

その他

**群馬県市町村総合事務組合
の規約変更に関する協議**

六合村が中之条町に編入
されるため及び下仁田南牧
医療事務組合が共同処理を
取りやめることと、館林邑
楽農業共済組合が解散する

ことにより組合規約を変更
するもの。
(全員賛成)

**群馬県市町村会館管理組合
の規約変更に関する協議**

六合村が中之条町に編入
されるため組合規約を変更
するもの。
(全員賛成)

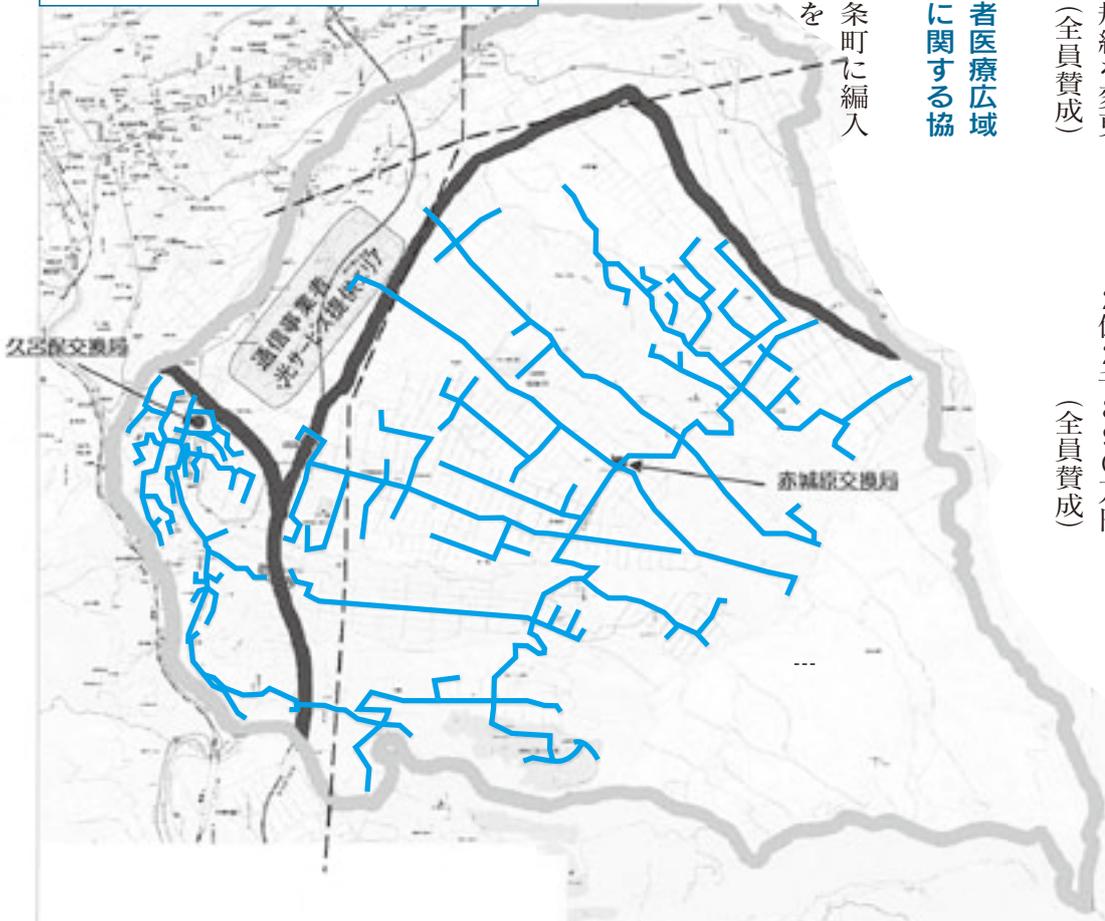
**群馬県後期高齢者医療広域
連合の規約変更に関する協
議**

六合村が中之条町に編入
されるため規約を
変更するもの。
(全員賛成)

**昭和村地域情報通信基盤整
備事業工事請負契約**

赤城原局・久呂保局管内
に光ファイバ網を整備する
ための請負契約。
契約金額
2億2千890万円
(全員賛成)

昭和村(赤城原地区、久呂保地区)
幹線網敷設ルート図



旧北勢多郡役所の保存、活用については採択に

総務民生常任委員会

3月10日に行われた総務民生常任委員会では、請願が提出された旧北勢多郡役所跡の現地調査を行った後、平成22年度一般会計・特別会計予算について慎重審議いたしました。全般にわたって質疑を行った後採決では、一般会計予算、国民健康保健特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予

算は賛成多数で、老人保健特別会計予算、介護保険特別会計予算については全会一致で可決すべきものと決定いたしました。本委員会に付託されました請願陳情では、「保育所入所児童に対する保育環境及び処遇向上のための補助金新設のお願いについて」の陳情は、12月定例会よ



旧北勢多郡役所跡の現地調査

り継続審査になっていきましたが、審査の中で、村の財政状況を考えた時に保育単価内訳試算表に試算された補助金額については、公立保育園との比較や各方面の調査を行い、再検討を要するとの意見をふまえた中、賛成多数により採択としました。次に「JR上越線岩本駅舎の保存・活用に関する請願」では、駅舎の解体が始まっている状況ではあるが、商工会を中心として解体保存をすることなどで、今後商工会での有効活用を考慮し、賛成多数で趣旨採択いたしました。

次に「旧北勢多郡役所の保存・活用と糸井地区の景観保全に関する請願」では、昭和村の景観を考えた時に養蚕農家群とともに活用拠点にもなり得るものであり、文化財保護と観光資源としての有効活用が図られるとして全会一致採択いたしました。



子育て保育園入園式

みなさんからの請願・陳情

自 平成21年10月20日 至 平成22年2月24日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
53	H21.10.20	陳情書 保育所入所児童に対する保育環境および処遇向上のための補助金新設のお願い	社会福祉法人子育て会 理事長 倉澤 義輝 ほか 法人役員一同	堤 盛吉 倉澤俊雄 真下明雄	総務民生	採択
65	H22. 1.28	陳情書 村道 宮田5号線舗装工事のお願いについて	田岸区長 吉澤 高行 大堀区長 戸村 恒男	林 幸司 横坂先夫	文教産建	採択

村道宮田5号線舗装工事は採択に

文教産建常任委員会

3月11日に行われた文教産建常任委員会では、予算等付託案件の審査前に当委員会に付託された陳情2箇所及び村道の用途廃止申請箇所、苗畑地区工事の進捗状況等について現地調査を行いました。



村道宮田5号線

はじめに貝野瀬地区内村道宮田5号線舗装工事のお願いについての陳情では、集落内の生活道路であるとともに児童・生徒が通学にも使用しており、地域にとって重要な道路であるとの説明を受け、協議した

結果、生活に欠かすことのできない道路であり、舗装の必要があるとして全会一致採択いたしました。次に松ノ木平校地内、村道横道上2号線道路舗装工事のお願いについての陳情では、地域内の重要な道路であり通行量も多く、舗装されているが傷みの激しい道路である。道路の利用状況及び現地調

査の結果、地域住民にとって重要な生活道路であると判断し、舗装の必要があるとして全会一致採択いたしました。



村道横道上2号線

次に村道沿いにある土地の地権者から住宅用敷地として、道路の一部を買い受けたいとして公共物用途廃止申請があり、調査を行い審議の結果、地権者に道路

専用許可を行い、住宅建築工事をしていただくことになりました。

次に追分苗畑幹線道路工事についての調査を行いました。22年度は整地工事にも入る予定だが、補助金等の関係で当初完成予定よりも遅れる可能性があるとの説明がありました。

本委員会に付託された平成22年度一般会計予算、簡易水道事業特別会計予算、農業集落排水事業特別会計予算は、慎重審議の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
66	H22. 2.22	陳情書 村道横道上2号線 道路舗装工事のお願いについて	松ノ木平第二区長塚本 昭夫	藤井富夫 中里信幸	文教産建	採択
67	H22. 2.24	J R上越線岩本駅舎の保存・活用に関する請願書	昭和村ボランティアガイドの会長 角田 勝美	治田貞賢 倉澤俊雄 高橋幸一郎	総務民生	趣旨採択
68	H22. 2.24	旧北勢多郡役所の保存・活用と糸井地区の景観保全に関する請願書	昭和村ボランティアガイドの会長 角田 勝美	治田貞賢 倉澤俊雄 高橋幸一郎	総務民生	採択

一般質問

「自治体クラウド」導入による 情報システムの効率化を

村長 情報の安全性に配慮し効率的に
運用できるように研究していきたい



高橋幸一郎 議員

問

市町村ごとに開発して所有している住民基本台帳や税務など各種基幹業務システムを県単位のデータに集約し、IT(情報技術)コスト削減や業務効率化につなげる試みを「自治体クラウド」と称し、昭和村においても電算委託料は平成17年度2,963万円が、平成19年度に5,979万円と約2倍となり、行政コストに重くのしかかっています。この委託料を単純に職員の平

「国土調査」の早期完了を

問

「国土調査法」は昭和26年、国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、あわせて地籍の明確化を図るため、国土の実態を科学的かつ総合的に調査することを目的として制定された法律で、地籍調査、土地分類調査、水調査の3調査で実施されます。

答 村 長

均給与で割ると約10人分に匹敵します。クラウド化に対する所見は。情報の安全性・機密性に十分配慮し、今後は電子計算委託業務や開発システムの賃貸借などを、自治体間で効率的に運用ができるよう、調査研究し、職員採用に当たっても近い将来、一般の社会人から採用できればいいと思う。

群馬県内の平成21年7月1日の地籍調査に関する各種データ記録によると、草津町、高山村、玉村町、明和町、旧白沢村

「マイスター制度」の設置を

問

マイスター(Meister)はドイツ語で親方、大家、名人などの意味ですが、日本においては、「全技連」がマイスター制度を認定しており、地方公共団体でも、職人その他の分野に対してマイスター的称号を授与している県市町村は数多く、北九州の焼うどんマイスター、横浜市の横浜マイスター、小豆島町のオリブマイスターなど各地の特色あるマイスター制度が繰り広げられています。昭和村でも、農業・商業・工業等の分野において優れた技術と技能を持った方々が数多くおられます。こ

答 村 長

考えるが。平成22年度より生越地区を皮切りに実施し、早期完了に向けて計画したいと考えている。

答 村 長

ふるさと雇用再生特別事業を活用し、村の観光資源や地域資源などの調査を商工会に委託し、事業を進めており、村内の優れた技能や実績を持った名人についても調査をお願いし、調査結果を踏まえ、今後、村の活性化のためにどのように活用できるのか検討したいと考えている。



姿勢問

新「公会計」制度による 財務諸表公表の見通しは

村長 職員減で厳しいが、
来年秋には公表にこぎつけたい



林 幸司 議員

問

「単式会計、現金主義」から、企業会計理念の「複式簿記、発生主義」が導入され、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書を作成、住民に解りやすく公表しなければならぬ。準備状況と今後の対応は。安易に金をかけてコンサル等に委託しないよう求める。

答
村長

新「地方公会計制度」は、

村独自の住宅エコポイント制度の実施を

問

地球温暖化対策と緊急経済対策として、村独自に10万円の補助を実施し、勤労者住宅補助(最高10万円)と、太陽光発電補助も含めれば100万円にもなり、村内業者を条件に入れれば、10倍以上の経済波及効果、雇用環境の改善が期待できる。

答
村長

最高30万円分の住宅エコポイント制度には期待していますが、村独自の補助は今後、検討したい。村としての太陽光発電補助についても、重要課題と認識しており、調査研究中であり、ご理解いただきたい。

国保の減免制度拡充を 75歳以上の医療費無料化を

問

生活困窮者国保一部負担金減免制度と、新年度から「7・5・2割」の応益割法定減免を実施していただきたい。

答
村長

OECD加盟30カ国中、24カ国が窓口医療費は無料又は実質無料です。日本の現状は福祉後

生活困窮者には、さらにきめ細かな相談など対応に努めてまいります。現段階では「6・4割」の減免しかできません。



らくらく筋トレ体操

後期高齢者は1128人で年々増加しており、療養給付は9億8200万円、75歳以上の無料化には7千万円以上かかり、厳しい財政状況から現段階では考えておりません。

村づくり協力委員と議員との意見交換会

3月19日、村づくり協力委員17名と議員との意見交換会が昭和の森山荘で開かれました。

議会の村づくり対策特別委員長が座長になり、①景観条例制定、②有害鳥獣対策、③道の駅構想についてと、大きく3項目をテーマにして意見が交わされました。

村内のゴミ、臭い、廃車対策について、有害鳥獣のフェンス設置状況、道の駅構想の旬菜館の在り方について等々、多くの意見が出されました。

また議会広報が読みづらいので、もっと分かりやすい紙面にしてほしいという意見も出されました。

2時間あまりでしたが活発な意見が交わされ、今後の村づくりに対し



町村議会広報全国コンクール

3回目の受賞

第24回町村議会広報全国コンクールにおいて、昨年4月発行の「昭和議会だより50号」が3回目の入賞をしました。

過去平成19年第21回入選、平成20年第22回奨励賞を受賞しておりますが、今回第24回も奨励賞の受賞で、奨励賞は2度目となりました。

今後とも住民により身近な議会だよりの発行と、親しみやすい紙面の編集に向けて努力していきたいと思

議会の動き

2月

- 13日 ● ウィンターフェスティバル 2010
- 15日 ● 定例議長会
● 広域圏議員協議会
● 学校組合議員協議会
- 20日 ● 第16回昭和村生涯学習大会
- 22日 ● 県町村議会議長会定期総会
● 広域組合議会定例会
● 学校組合議会定例会
● 沼田市外二箇村清掃施設組合議会定例会
- 26日 ● 議会運営委員会

3月

- 5日 ● 第18回昭和村議会定例会 本会議
- 8日 ● 議会全員協議会
- 9日 ● 本会議
● 議会全員協議会
● 議会広報編集特別委員会
- 10日 ● 総務民生常任委員会
- 11日 ● 文教産建常任委員会
- 12日 ● 昭和中学校卒業式
- 14日 ● 第28回村民芸能祭
- 15日 ● 本会議(最終日)
- 17日 ● 議会広報編集特別委員会
- 19日 ● 村づくり協力委員会との意見交換会

- 25日 ● 東小学校・南小学校・大河原小学校卒業式

- 27日 ● 第一保育園・第二保育園・子育て保育園卒園式

- 29日 ● 家族経営協定調印式

4月

- 5日 ● 第一保育園・第二保育園・子育て保育園入園式

- 7日 ● 昭和中学校入学式
● 東小学校・南小学校・大河原小学校入学式

- 9日 ● 議会広報編集特別委員会

- 13日 ● 定例議長会
● 広域圏議員協議会

- 16日 ● 議会広報編集特別委員会

- 18日 ● 村の木「さくら」記念植樹

要望

消防団詰所は、車庫及び機械器具の保管場所と団員待機場所を備えた消防団員の活動拠点施設として設置されています。以前の詰所は、建築から40年以上が経過し老朽化が進んでいたことから、平成12年度から平成20年度までに5か所の地区より建て替えの要望が出ていました。



その後

平成14年度から立地条件の悪い詰所から順次建て替えを進め、平成21年度に4か所の詰所が完成したことにより、10か所すべての詰所の建て替えが完了しました。

新築された詰所は、従来の詰所よりも床面積が広くなり、新たにトイレも設置されています。また、詰所の近くにホース掛けも設置され、より一層の装備の充実が図られました。今後は、出動時に消防車が安全に出入りできるように各詰所用地の舗装工事を施工し、消防施設のすべての工事が完了します。



新しくなった第三分団詰所(川額)



旧第三分団詰所

すべての消防団詰所が完成

追跡 11 シリーズ

あの問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。



村づくり協力委員

村づくり



会長
吉野 茂美さん

村づくり協力委員として3年が経ちました。年間行事としては議員さんとの意見交換会、花いっぱい運動、秋まつり、ウインターフェスティバルへの協力、村内外への研修などを実施し、村民の視点から村政全般に関する施策に対して、2年に1度提言として村へ提出しています。

昨年、日本で最も美しい村連合に加盟し、将来に向けて景観の保護管理が大切になります。景観に関しては建造物や看板等の規制、中でもゴミのポイ捨てをなくすことは、村民一人ひとりが環境に対

する意識を高め、自分が美しい村の管理者であるという気持ちで取り組んでほしいと思います。

昭和村の魅力を全国に発信し観光客を増やすため、23年7月には「DC(デスティネーションキャンペーン)」が始まります。基幹産業が農業という本村に誘客する方法を考えなければなりません。村内外の企業、各種団体や個人から意見感想を聞き、新しい村づくりを進めていければ近い将来、美しい、楽しい、癒されるふるさとづくりができるのではないのでしょうか。

美しい村



副会長
林 きく江さん

昨年、日本で最も美しい村連合に加盟されたことを聞き、すばらしいことだと思いました。望郷ラインから見える子持山、武尊山、遠くの谷川岳は最高の眺めです。昭和村で生まれ育った私にとって誇りに思います。

昭和村の自然の美しさを残し、地域資源の大切な文化を守ることが、子供たちのため必要だと思えます。

しかし、春になり雪が溶けるとゴミや空き缶が目立ちます。また林の奥に入ると、テレビ、ラジオ、タイヤなどの粗大ゴミが捨てられています。美しい村のイメージが：がっかりします。各区での道路愛護や各団体のボランティアの方々によるゴミ拾いもしていますが、やはりすぐに目立ちます。役場の職員の方が毎月1日にゴミ拾いをしているように、村全体に呼びかけ、個人個人ゴミ拾いをしたらどうでしょう。家の周りの

空き缶を拾うだけでも少なくなると思います。
昭和村の美しい景観のため、少しでも協力して行きたいと思えます。

「三代目」の人達



副会長
堀 達也さん

私は、追分という開拓の地域に生まれました。祖父が初代、父が二代目、そして私と続き、父からよく三代目はしっかりしてくれ、三代目がしっかりしてくれば家は安泰」と、プレッシャーをかけられておりました。

そんな私が最近酒の席である若者から「堀さんは開拓二代目ですよ」といわれました。そんなバカなど反論すると、若者いわく、祖父と父が初代であること、その子の私は二代目であることを説明してくれました。なんと私は二代目でした。

その若者は「三代目」という農家の倅二十人位で作った団体に入っ

村づくり協力委員名簿

	氏名	地区名
	藤井 竹美さん	(永井)
	青木 清隆さん	(入原)
	竹之内 佐知子さん	(川額)
	保坂 貴仁さん	(鎌沢・上組・中組)
	西澤 由美子さん	(下宿・入沢)
	金井 真一さん	(椽久保)
副会長	林 きく江さん	(吹張・宿)
	金子 幸雄さん	(中宿・中内出・常木)
	小野 誠さん	(滝寺・南内出・上内出)
会長	吉野 茂美さん	(田岸・大堀)
	石井 かおるさん	(滝久保・池原)
	木暮 恵子さん	(生越)
	根岸 悦子さん	(中野)
	竹吉 美智男さん	(大河原・長者久保)
副会長	堀 達也さん	(追分・赤谷)
	大塚 直子さん	(赤城原)
	塚本 滋子さん	(松ノ木平)

ているそうです。聞くところによると、勉強すると言うところから始まって、今では、お祭りや講演会をプロデュースするなど活動も広がっているようです。酒もわりと飲むようです。

「三代目」は危なっかしい所もあるようですが、そこは若者、私はとても期待しております。

「村興し、町興し」と日本全国で騒がれている今日この頃ですが、本当に斬新なアイデアは、きっとこういう若い脳みそから生まれるでしょう。行政も、引っ張るのではなく、ぜひ後押ししていただき

たいと思う次第です。
ガンバレ三代目

行事に参加しましょう



大塚 直子さん

信号機 開墾の地に
灯りし日 先祖の苦勞
芯から思う

56年前私が生まれた時電気も水もなかったこの地に、つい最近信号機が設置され思わずうかんだ句です。昭和インター、工業団地、温泉施設、ゴルフ場にサッカー場：純農村地帯から変わってきている。でもどんなに変わっても、赤城の大地から見る山々の景色、沼田の夜景、満天の星空、澄みきつた空気、そして人を思いやる優しい

心はこれからも変わらないでしょう。村民が幸せであってこそ「日本でも最も美しい村」昭和村になると思う。

村主催の多くの行事や活動を通して、人と人との繋がりの上に、村を思う気持ちが大きくなると思うので、これからも積極的に参加していきたいと思えます。



昭和の森山荘における交換会

地域でがんばる人

今、楽しみなこと

青木 永次さん (椽久保南部)



今年、幸運にも2度目の東京マラソンに出場することができ、昨秋から長い距離の練習や旅行中も走り、バンクのランビニ公園では、早朝ジョギングや散歩を楽しむ市民の人と一緒に走り、観光とは違う経験もできました。当日は雨のレースでしたが、沿道の人たちが熱心に応援してくださいましたおかげで、目標だった3時間30分を切る事ができて良い思い出ができました。



マカオ市内で早朝ジョギング

また、今年は小学生のライスカップ駅伝の男子監督を任され3か月一緒に走り、小学生の走りの成長に驚かされました。結果は12位でしたが、6人中4人はまだ5年生なので来年は入賞を目指そうと話しています、その中で走る楽しみを教えられればと思います。

「今、楽しみなことは」と聞かれて、「マラソン大会で走る」といえるよう仲間と走り続けたい。

皆さんも水曜日の夜、東小の校庭にいい汗をかきに来ませんか。

春の健康ちよつとレシピ

材料(2人分)

ごはん…300g、うどん…100g、絹さや…10g、鶏もも肉…30g、油…小さじ1(4g)、A[しょうゆ…小さじ2(12g)、みりん…小さじ2(12g)、酒…小さじ2(10g)、砂糖…小さじ1/2(1g)、だし汁…大さじ1(15g)]、ごま…小さじ1/2(1.5g)

作り方

- ①ご飯は普通に炊いておく。
- ②うどんは2cm長さに切り、皮を厚めにかつらむきし縦半分の短冊切りにする。すぐに酢水にさらしあくを抜く。10分くらいさらしたら水気を切る。
- ③絹さやは塩ゆでし、斜めの千切りにする。鶏肉は小さく切っておく。
- ④フライパンに油を熱し、鶏肉を炒め、色が変わったら、うどんを加え軽く炒める。Aを加え水分がほぼなくなるまで、炒め煮にする。
- ⑤ご飯に④と絹さやとごまを混ぜ合わせる。
- ⑥器に盛りつけできあがり。



ちよつと混ぜご飯

ワンポイントアドバイス

- ・うどんは酢水に長くつけすぎると香りやしゃきしゃき感が失われてしまいます。
- ・残った皮は捨てずに、繊維に沿って千切りにし、きんぴらにするといいでしょう。

栄養価(1人分)

熱量…328kcal、たんぱく質…7.9g、脂質…4.0g、カルシウム…23g、鉄分…0.6mg、塩分…0.9g

編集室から

今年はずいぶん暖冬だといわれていますが、2月6日の大雪により村内各地でパイプハウスの倒壊がありました。被害にあわれた農家の皆さんに、心よりお見舞い申し上げます。保育園、小・中学校の入園、入学式が期待に胸ふくらませ行われました。役場でも22年度の人事異動で、4人の新しい課長さんが誕生しました。我が「議会だより第50号」が第24回全国町村議会広報コンクールにおいて奨励賞を受賞しました。村民の皆様にも一人でも多く読んでいただけよう編集委員一同これからも親しまれる紙面作りに向け頑張りますので末永くご愛読ください。

財政的に今年度も非常に厳しい予算ですけれど、知恵を絞り、努力しすばらしい昭和村に築き上げていきたいと思っています。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 横坂 先夫 記
副委員長 倉澤 俊雄
委員 眞下 明雄

- 高橋 昇三 横坂 先夫
治田 貞賢 中里 信幸
金井 正夫 金子松二郎